

# 女子学生による女性ロールモデル紹介事業

## 【事業実施主体】

熊本市男女共同参画センターは  
あもにい

## 【連携団体】

熊本県下各大学・短期大学

## 【目的】

- ①女子学生が、地域の女性リーダーの取組や活躍を紹介する冊子を企画・制作する事業を通して、女性活躍推進啓発の裾野を広げる。
- ②女子学生が地域の女性リーダーとつながることにより、世代をつなぐ新たな女性ネットワークの構築を期待する。
- ③一連の事業に関わる中で、次世代のメンターとなるべき人材の育成機会を設ける。

## 【主な取組】

主に女子学生を主体とした企画・編集チームを編成し、

- ①男女共同参画社会の課題や女性活躍推進の取り組みについて学び、
- ②当センターが企画・運営しているラジオ番組「クマモト・ウーマン」で紹介した人材をベースに、地域で活躍する女性(51名)を選出。
- ③取材や原稿の書き方など編集に関する講義を受け、インタビューへの準備をした。
- ④約3カ月間で、インタビューを行い、原稿を作成。それぞれの女性たちの話を聞きながら、女性の多様な生き方をまとめた冊子を作成した。
- ⑤プロジェクトの進行には、フェイスブックやメーリングリストを活用。取材の状況や学生の取り組みを発信しながら、メンバーがゆるやかにつながり続けられる環境を整備した。
- ⑥取材・原稿作成を終え、それぞれの経験や体験を共有するふりかえり会を実施した。

# 事業実施概要①

## 9月 参加者を募集

女子学生の社会人力アップにつながります！ と呼びかけプロジェクトの参加者を募集。14人の女子学生と熊本大学世界システム史演習Eのゼミ生(男女)が協力してくれることになった。

## 10月 編集講座を実施

メンバーを対象に編集やインタビューの基礎知識を学ぶ講座を実施。講座では、模擬インタビュー&原稿作成にも挑戦。それをふまえて、「取材の心得」を作成した。

**熊本の女子学生 社会人力アッププロジェクト** **参加受付中!**

編集・企画スタッフとしてたくさんの社会人と出会って学びたい！  
取材の方法、文書の基本は、プロがレクチャーします。

熊本県男女共同参画センターはあもに、地域で活躍する先輩たちや企業を訪問してさまざまなプロジェクトを進行し、取材や編集に関する知識を身につけてくれる女子学生を募集します。  
さらさらしくまろくまろくから社会と関わる女性たちの生き方はきっとあなたも学ばせてくれるはずです。夢の社会人デビューを成功させるための鍵(1) (体験する) (学ぶ出す) 自分ももっと高レベルでいきましょう！

**対象者** 女子学生。主に2年生と3年生  
※1年生、4年生の参加も可能です ※15~20名を募集します

**条件** 講座(社会人基礎 編集基礎)を受講済み  
取材対象者への取材をし、原稿を書くことができる方  
※取材は任意です。原稿作成・校正の指導を行います  
※参加費は別途募集要項を参照

**期間** 2015年2月15日まで ※その他の開催は行いません

**活動内容** 編集実務講座、編集実習、出版企画実習、広域活動体験  
出版企画イベントの企画など

**費用** 資料交通費は実費を申しします

お申し込み 熊本県男女共同参画センターはあもに | 096-345-2550  
問い合わせ 096-345-2550 <http://www.harmony-nmccs.org>



## 11月・12月 いよいよ取材へ！ 12月・1月 次々と原稿を作成

いよいよ51件の取材がスタート。  
取材相手のアポイントをとり、学生とカメラマンの日程を調整。学業の合間をぬっての取材活動・原稿作成に取り組んだ。



# 事業実施概要②

活動の様子は、フェイスブックやホームページで情報を発信。  
地元の新聞にも取り上げられた。



<http://harmony-mimoza.org/kw-book/>



## 1月 ふりかえり会を実施

それぞれの取材での体験や気づきを共有しあうふりかえり会を実施。



## 2月 冊子が完成



冊子が完成。  
熊本県下の高校・専門学校・大学、ほか、公設図書館や公民館に寄贈したほか、冊子完成報告会に来場した方に贈呈。  
3月からは、ホームページでの閲覧も可能にした。

# 事業効果

学生たちは事業を通して、男女共同参画・女性活躍推進についての理解を深め、疑問点は直接質問しながら解決することができた。当初は「なぜ、男女共同参画や女性活躍推進が必要なのか？」という意見を持っていた学生もいたが、女性の生き方・働き方の多様性に触れることで、「職業選択の際、女性は結婚・出産の可能性があるという視点が必要だと気付いた」という意見を聞かせてくれるなど、職業選択の際の男女共同参画の視点の重要性に気づく機会を与えることができた。ふりかえり会では「結婚や出産はキャリアを築きたい女性にとって縛りになるものだと思っていたが、多くの女性が、結婚や出産・育児を通して社会の課題に気づき活動を広げていることがわかった。結婚に関する価値観が変わった」「育児支援など女性活動支援の制度が充実していればいいと思っていたが、どんな環境も作っていく事ができるとわかり、職業選択の幅が広がった」などの意見が出され共有された。

学生にとっては、リーダーシップを持った人たちに接する中で、理想的なリーダーシップのあり方を見て、考え学ぶ機会にもなった。

# 今後の課題

本事業後半に、クマモト・ウーマンという同名のフェイスブックページを立ち上げ、取材に関わった学生、取材対象となった地域ロールモデルがそれぞれに、主体的な情報発信ができる交流の場を作った。今後は、女性活躍推進に取り組む行政・事業所などを取り込みつつ、当センターを拠点とした事業を行うなど、交流を支援していきたい。冊子やホームページによる継続的な啓発が可能になった。冊子制作事業による女子学生の組織化は未完成ではあるが、熊本市が取り組む「男女共同参画推進員」などの取組を意欲ある女子学生に伝えるなど、今後の長期的な課題としていきたい。